



2020年 新年のご挨拶	2
連携医療機関のご紹介	
大在こどもクリニック	6
大在耳鼻科内科医院	7
大分医療センター診療科紹介 婦人科	8
令和元年度 第6回がん川柳五・七・五優秀作品	9
第73回 国立病院総合医学会	10
2019 健康フェア	12
クリスマスコンサート	13
キャンドルサービス	13
第7回 DMAT 隊員養成研修	14
令和元年 合同忘年会	14
人事異動	15
編集後記	15
外来診察医担当表	16



富士山と御朱印（撮影：南利朱美）

新年明けましておめでとうございます。
謹んで新春のお慶びを申し上げます。

令和の元号になって初めての正月を迎え、新たに希望と期待に満ちた気持ちでお過ごしのことと思います。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

昨年はラグビーのワールドカップで盛り上がったスポーツ界でしたが、今年はオリンピック・パラリンピックの年でさらに盛り上がることでしょう。



院長
穴井 秀明

当院にとりまして、昨年は以下の3つの大きなイベントがありました。

- 1) 24時間対応の訪問看護ステーション「あいしん」の設立
- 2) 創立40周年記念祝賀会
- 3) 電子カルテ更新（総入れ替え）

1) は昨年4月から24時間対応の訪問看護ステーション「あいしん」の設立でした。将来の深刻な人口減、超高齢化現象を見据えた地域医療構想の地域包括ケアシステムの一環として、在宅医療へのシフトに対応する為です。「時々入院、ほぼ在宅」の理念です。

2) は令和元年9月7日（土）に大分市のトキハ会館で当院の創立40周年記念祝賀会とOB会の第11回「豊水会」を合同で開催いたしました。たくさんの方に出席して頂き、祝って頂きました。

3) は6年間使用してきた電子カルテの更新でした。令和元年12月1日付けの更新稼働でした。世間一般的には車や電化製品のように広く普及してきたら、価格が安くなりますが、電子カルテはそうはいきませんでした。前回の時より、高額になったのには驚きました。

以上の大きなイベントも無事に終えることができました。

そしてTQM活動からでた優秀な作品が国立病院機構のQC活動で全国第2位をとったことも大変な喜びでした。今年のTQM活動も是非、頑張って頂きたいと願っています。

このように大分医療センターが成長・発展してきたのも、ひとえに職員の皆さんの日々の努力のおかげです。深く感謝致します。

今年は特に次の2つのことを考えています。

まず一つは、院内ルールの一統化です。これは「同一労働、同一賃金」と同じように「同一事項、同一ルール」ということです。同じことをするのに各病棟、各部署でさまじり（ルール）が同じでなく、ローカルルールが存在することです。医療安全上、大変問題です。職員がどの病棟、どの部署で働いても、同一事項に対しては同一のルールで対応することが最も大事だと思っています。全職員で考えていきましょう。

さらにもう一つは、病院の構造改革を行いたいと思っています。入札寸前までいった外来棟建替工事の凍結の件です。当院念願の外来棟建替でしたが、国立病院機構全体の経営状態の悪化から判断した苦渋の選択でした。外来棟建替工事の凍結は解除される見

込みは皆無です。本来、外来等建替工事後に手術棟建替を考えていましたが、手術棟の老朽化と手狭さは待てない状態になってきました。病院内のトリアージ（治療の優先度の選別）を考えると外来棟より手術棟の方が優先されます。予算的にも外来棟建替よりも手術棟の方がハードルは低くなります。

また、現在 15 床休床になっているため、現在の手術棟 1 階に休床病棟を確保しています。そこで、この 15 床を緩和ケア病棟にあて、手術棟建替と緩和ケア病棟開設を同時に検討します。さらに 5 階病棟の地域包括ケア病棟 60 床を 15 床減らし、45 床にして、減少した病室を小さなりハ室にして、5 階に居ながら、患者さん自身でリハビリが出来る環境を整えたいと思っています。

地域医療構想でも病院のダウンサイジングが提唱されています。そこで結局、当院は 300 床から 285 床にスリム化いたします。この構想はまだ検討課題ですが、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

今年は子（ネズミ）年です。ミッキーやミニーのようにピョンピョン飛び跳ねながら、飛躍、成長する年になりますよう祈念致します。皆様にとって、また病院にとっても素晴らしい年でありますようにお祈り申し上げます。

明けましておめでとうございます。 謹んで新春のお慶びを申し上げます。

大分医療センターの職員の皆様、連携医療機関の皆様、旧年中は大変お世話になりました。

当院は国立病院機構の中でも小規模な病院です。それ故に、思い通りにならないこともあります。当院の職員はそれぞれ良くやってくれています。

さて、今年は子年です。地球の歴史上、6600 万年前に直径 10km の巨大隕石が南米に衝突し、気候が激変、地上を席卷していた恐竜などの大型生物をふくむ大部分の生物は絶滅したと言われています。ところが、その当時、人間の祖先はネズミの様な小さな哺乳類でしたが、一部が生き残りました。恐竜の陰に怯えながら暮らしてきた祖先は、その知恵とチームワークを武器に、過酷な地球環境を乗り越え、現在の高度な文明をつくり上げたのです。

大分医療センターも、色々な課題がありますが、一つずつ片付けながら前に進んでいます。干支も一巡りしスタートラインに戻りましたので、踏ん張りどころはこれからだと思っています。我々の病院は小さいからこそ、一つの目標に向かってまとまりやすい利点があります。一人一人は微力ですが、ネズミのように皆が寄りそって一塊となり、大分医療センターを盛り上げ、大分県東部地区の地域医療に貢献いたします。本年もどうぞよろしくお願いいたします。



副院長
奈須 伸吉

明けましておめでとうございます。
謹んで、新年のお慶びを申し上げます。

去年の流行語大賞にノミネートされた30語のうち、5語も選ばれるほど、ラグビーは脚光を浴びました。流行りに乗り遅れることの多い私ですが、これには便乗させて頂きました。昭和電工ドームで開催されるし、「4年に一度じゃない。一生に一度だ。」と宣伝してるし、住民優先券が購入できるし、チケットだけ買っとくと、一昨年の11月には大分開催全5試合を購入していました。根っからのラグビーファンには叱られますが、ルールは全くわかっていません。W杯なのに、どの国が有力なのかも知りません。開催2ヶ月前、このままではダメだ。ルールや見所がわからないまま会場には行けない。でも、「にわかファン」は、にわかにも頑張るのです。前回W杯DVD、今回W杯のガイド本を購入、ラグビー入門のyoutubeを片端から参照し、基礎知識を導入します。そして9月、W杯は開幕しました。「ジャッカル」を覚え、「笑わない男」のオフロードパスに興奮しました。日本代表はロシア、アイルランド、サモア、スコットランドを次々に撃破し、予選プール1位で決勝トーナメントに進出と言う素晴らしい結果を残しました。ジョセフヘッドコーチは必要な選手を国籍問わずに選びました。思いや心が一つになればチームとして機能しないとの思いが、「ONE TEAM」でした。マイケルキャプテンは「これは一夜で作られたものでない」とコメントしています。スローガンでなく、積み重ねの結果なのです。我々大分医療センタースタッフもチームとして完成に至る道を一步づつ、歩いていきたいものです。



統括診療部長

中村 雄介

新年あけましておめでとうございます。

昨年は、平成から令和に年号が変わり新しい時代を迎えましたが、病院運営としては厳しい一年になりました。4月には「働き方改革」に基づく労働基準法が改正され、時間外労働の上限規制や年次休暇の年間5日の取得が義務化され、罰則規定も設けられました。9月には地域医療構想に基づく病院機能の再編や統廃合対象の病院名が公表されました。これは毎年見直されるとのことです。10月には消費税増税により負担割合が8%から10%に引き上げられ病院経費が増加することになりました。

病院としては、4月に「訪問看護ステーションあいしん」を開設、HCUを5床から4床に変更、12月には「病院情報システムの更新」を行い、健全経営を図ってきたところです。また年度当初入院患者数が伸び悩み、厳しい経営状況が続きましたが、9月後半から回復の兆しが見え始め、単月であります10月、11月と2カ月連続して経営収支が100%を超えました。これもみなさまのご努力とご協力の賜物であり感謝申し上げます。

今年は、建て替えが凍結された外来棟と老朽化が著しい手術棟の機能を維持管理し、どう展開させていくかが課題であり、そのためには医療機器等の施設整備が必要となります。これらを実現するためには入院患者数の増を図り安定的な病院運営（経常収支100%を超えること）が大前提となりますので、引き続き大分医療センターを発展させるためには、みなさまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。



事務部長

國分 克典

新年明けましておめでとうございます。

当院の敷地内に昨年の4月「訪問看護ステーションあいしん」が開設されました。市内東部地区におけるかかりつけ医の担当患者さんが、診療時間外に病状が急変した場合、在宅での初期対応を訪問看護師が行うことで、入院・治療が円滑となり、地域医療の充実が図れることを目的に稼働しました。訪問看護は24時間体制で、利用者さんやご家族の思い・考えを聴き、病態や症状に対するアセスメントは当然のことですが、利用者さんの生活に寄りそえる看護の提供を心がけています。そのためには訪問看護師が日頃より、自らの行動を振り返るという意識をもち続けることが重要だと思います。また当院は、平成29年12月に地域包括ケア病棟を開設し、急性期からの受入や在宅生活復帰の支援、地域で長期療法を行っている患者さんの緊急時の受入を行っています。地域の医師会や無床診療所の先生方からの要請に応じて稼働しました。地域包括ケア病棟においては多職種協働によるチーム医療が求められます。患者さんの価値観や生活を意識し、柔軟に対応するにはコミュニケーションを深めることが重要です。互いの意思を尊重しながらケアの質を高めていくための職場づくりを行い、成果に繋がりたいと思います。

今年の干支は十二支が廻って始まりの年「子」です。子年を植物にたとえると新しい生命が種子の中にきざし始める時期で、新しい物事や運気のサイクルの始まる年になると考えられています。そこで、これまで以上に他職種との連携・調整を行い、働き方改革に耐えうる医療環境・職場環境の整備に努めていきたいと思っています。

本年もどうぞ宜しくお願いいたします。



看護部長

佐保 美恵子

あけましておめでとうございます。

大分に赴任して3回目の正月を迎えることができました。

3年目を迎えるにあたり、一つの目標を立てました。大分にどっぷり漬かりたいと思っていましたが、大分のことは知らないことばかりです。豊後三賢人、大分の二度泣き、版籍奉還・廃藩置県の頃は、「大分県」という地名がなかったこと……。改めて勉強してみようかと思いたちました。ほんのちょっとしたきっかけ、ほんのちょっとした共通の話題でつきあいが変わることがあります。そんな時に大分の話題ができればと思った次第です。少しずつ、大分の視野を拡げています。

昨年は、開拓者の中で育った少女が、夢を抱き、アニメーターに成長していく姿を描いた朝ドラ「なつぞら」をいつものように見てました。その中の一コマ、「自分を越えたいんだ。」という場面に、そんな気持ちいつのまにか忘れてたなあと感じかされました。

今年は「子」年です。牛の背中にのって、先頭を狙う夢を追いかけてながら、猫に追いかけて一年を過ごそうと思います。



薬剤部長

吉野 裕統



連携医療機関のご紹介

大在こどもクリニック

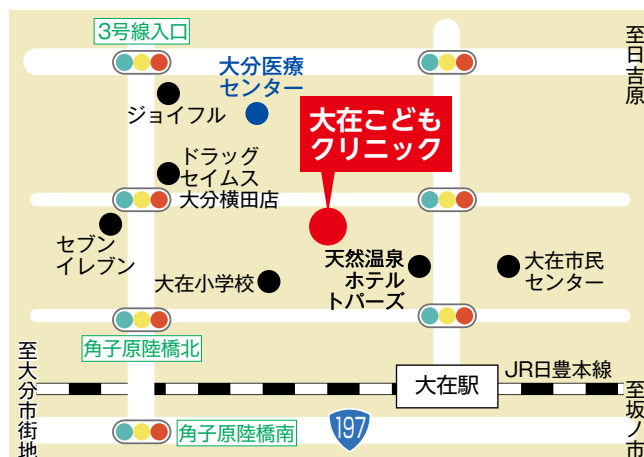
所在地	大分市横田1-13-17
T E L	097-593-3303
診療科目	小児科（一般診療、予防接種、乳児健診）
病床数	なし
診療時間	9:00～11:45（土曜12:45まで） 14:00～17:45
休診日	土曜午後、日曜、祝日



院長 澤口 博人 先生



平成9年4月から大在で小児科診療を行っています。診療内容は一般診療、乳児健診、予防接種です。医師会活動としては平成28年6月から大在、坂ノ市、佐賀関地区の医師が所属する大分東医師会会長を承り、病診・診診連携を促進し、在宅医療推進事業を実施してまいりました。地域の中核病院である大分医療センターとの顔の見える連携により医療の質の向上に努め、地域の皆様により良い医療を提供してまいります。



大在耳鼻科内科医院

所在地	大分市汐見2丁目1番1号
T E L	097-524-3808
診療科目	耳鼻咽喉科・内科
病床数	なし
診療時間	8:30~12:00 14:00~18:00(土曜16:00まで)
休診日	水曜午後、日曜、祝日



院長 田中 隆博 先生



副院長 田中 雅子 先生

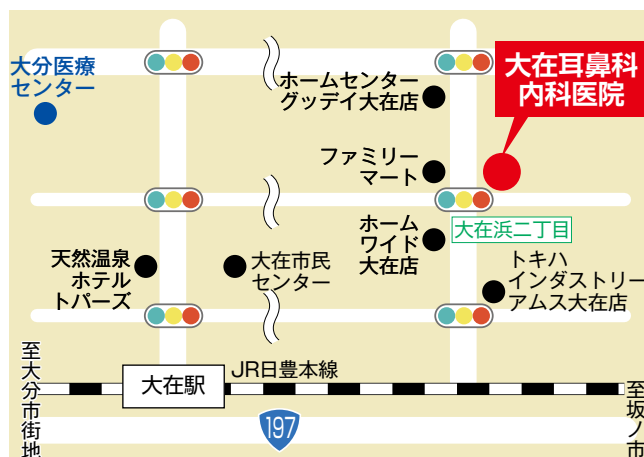


当院は、大分医療センターから徒歩圏内に開院して20年を迎えました。

それ以来、多くの医療センターのドクターやスタッフの方々にお世話になり感謝いたします。

さて、当初より当院のコンセプトの一つは病気の状態を可能な限り画像や定量化して患者さまが情報を共有することで理解していただくことに努めています。また、小さな診療所ではありますが耳鼻咽喉科と内科を併設することで、必要があれば耳鼻咽喉科と内科と連携して病気の治療に当たることも特色としています。

今後できるだけ丁寧な説明と治療をモットーに、地域医療に貢献することをめざしていきます。



婦人科

Gynecology

婦人科部長
岡田 さおり



2019年4月より大分大学産科婦人科学教室から岡本真実子医師を派遣いただいて常勤医2名体制となりました。午前の外来診療は週3回岡田が、週2回岡本が担当します。大分大学医学部産婦人科准教授の西田先生の外来は引き続き水曜日午後です。

10月に外来の子宮鏡とコルポスコピーが新しくなりました。12月の電子カルテの入れ替えでは、画像を直接カルテに送れるようになりました。

子宮鏡は、胃カメラ大腸カメラと同様子宮の中をのぞく内視鏡です。過多月経や不正出血の患者様に対し、子宮内に子宮筋腫や子宮内膜ポリープ、がんなどの病変がないかを見るものです。直径3mmですので、未婚産の方でも無麻酔で外来検査として施行します。（実は外来検査用の子宮鏡がある施設は少ないのです）病変があれば後日子宮鏡手術となりますが、当院では1泊2日腰部脊椎麻酔で行っています。

人数が増え、当院で対応できることが増えました。今後ともよろしくお願いします。



子宮粘膜下筋腫



子宮内膜ポリープ

令和元年度

12/12
(木)

第6回 がん川柳五・七・五優秀作品

大分医療センターがん川柳は2014年から全国のみなさまから作品を募集し、作品集も刊行しています。第6回がん川柳五・七・五作品展の優秀作品が決定し、憩いの広場で表彰式を行いました。みなさんの思いが込められた作品をご紹介します。たくさんの方の応募ありがとうございました。

(MSW 村上英恵)



前向きに
生きる夫に
そつと手を

大分県 プリン

告知され
やりたいことが
増えていく

兵庫県 おさり

闘病の
こころ支える
体験談

埼玉県 乳母車の弥七

がんになり
負けない心
生き帰る

大分市 はまちゃん

手術おえ
医師の笑顔に
涙ふく

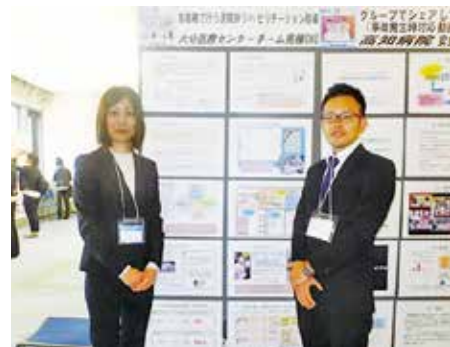
大分県

全国特別優秀賞を受賞して

この度は、第73回国立病院総合医学会におきまして、QC活動全国特別優秀賞を頂き大変光栄に思います。関係者の皆さまへはこの場をおかりして感謝申し上げます。

今回のテーマは『多職種で行う退院時リハビリテーション指導（スタンブラリー形式）～患者のやる気を高めニーズを聞き出し指導料もがっちり算定～』でした。大規模に編成されたチームの代表として看護師さんとの2名でいざ発表へ！壇上に立ち前を見渡すと…、国立病院機構の理事長を始め多くの幹部の方々が審査員として並ばれておられ、緊張はピークへ！！しかし、その緊張を吹き飛ばすために事前に準備していた決めポーズ（自称がっちりポーズ）を2人で審査員へバッチリ決めました。会場には笑いも起こり緊張は解け、その後は練習通りに発表できたと思います。夜の表彰式は貸切にされた名古屋港水族館で行われました。結果は全国特別優秀賞！記念撮影では理事長にもがっちりポーズをして頂きました。優しい方でした。また夜の水族館でイルカのショーを院長、副院長、看護部長とご一緒出来た事も忘れられません。本当に有難い体験でした。今後も活動を頑張っていきたいと思います。ありがとうございました。

(主任作業療法士 大黒 陽蔵)

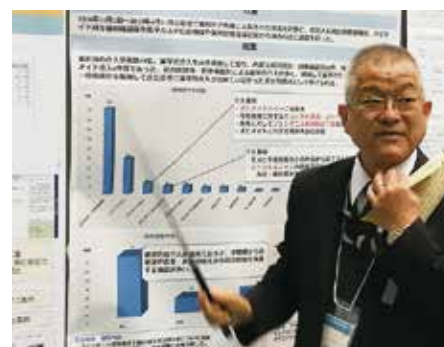


ベストポスター受賞

患者一人ひとりのチーム医療を意識化するツール「担当職員一覧表」の作成

部 署	職 名	氏 名	演 題
医 局	統括診療部長	中村 雄介	未読扱いの報告書群から要対処症例を優先選出する方法の一例
	研究検査部長	森内 昭	Theory of the sick breast lobeを核の膨隆サイン(Nuclear bulging sign,NBS)で探知されるField carcinogenesisと比較
薬剤部	薬剤部長	吉野 裕統	新たな手法による医薬品情報提供の検討
ホッとステーション	医療安全管理係長	安藤万寿美	医療安全の地域連携と相互評価の効果
総合支援センター	地域医療連携係長	姫野 里美	★ベストポスター受賞 患者一人ひとりのチーム医療を意識化するツール「担当職員一覧表」の作成
1 階病棟	看護師長	山本真由美	排尿自立支援に向けた取り組み
2 階病棟	副看護師長	廣田 紘子	緩和ケアリンクナースの育成についての取り組み
外来	副看護師長	高橋 知子	外来化学療法センターにおける免疫チェックポイント阻害剤投与患者の免疫関連有害事象(irAE)皮膚障害に対する看護師の役割
	副看護師長	三重野純子	A病院における抗菌薬適正使用支援チームの活動報告
	看護師	佐藤 晶子	外来におけるがん放射線療法看護についての教育ツール作成の取り組み
放射線科	撮影透視主任	出水 健教	治療計画用CT値-電子密度変換ケーブルがMU値に与える影響
臨床工学室	臨床工学技士	高橋 宏二	生体情報モニタの無駄鳴りアラーム削減に向けた取り組み
総合支援センター	医療社会事業専門員	村上 英恵	倫理コンサルティングチームにおけるソーシャルワーカーの役割と存在意義
QC活動発表			
リハビリテーション科	主任作業療法士	大黒 陽蔵	★全国特別優秀賞受賞 多職種で行う退院時リハビリテーション指導（スタンブラリー形式）
3 階病棟	看護師	秋丸 貴子	

■ 当院職員の発表の様子



2019健康フェア

10/26
(土)



楽しいコーラス

♪大在中学校音楽部♪



講演：「いつまでもいきいき～更年期を過ぎて～」 婦人科部長 岡田 さおり



講演：「あなたは大丈夫？脂肪肝とアルコール性肝障害のお話し」
消化器内科部長 山下 勉

◆昨年、院内で初めて健康フェアを開催した経験を基に、健康フェア準備部会や各ブース担当の方々が一生懸命準備してくれたので、概ねスムーズに開催できて、今回も盛況でした。

◆大変な面もありましたが、健康フェアに準備の段階から携わることができてよかったです。

◆健康・医療に関心を持たれている方が多いことに、改めてビックリしました。来年も栄養相談コーナーでお待ちしております。

医療サービス向上委員会
健康フェア準備部会・実行スタッフ



オータムコンサート
♪坊がつるギターアンサンブル♪





♪クリスマスコンサート♪

12/22
(日)



毎年恒例のクリスマスコンサートを開催しました。大分市を中心に活動されているミッツ・ジャズ・オーケストラの皆さんによる演奏に、入院中の患者さんも楽しそうにリズムをとって参加されていました。また、会場に来られない患者さんは病室内のテレビでも鑑賞ができ、心癒される時間を過ごしました。

(医療サービス向上推進委員会)



ボランティアでお手伝いいただきました日本文理大学医療専門学校のみなさん、ご協力ありがとうございました。



♪キャンドルサービス♪

12/23
(月)



職員によるキャンドルサービスを行い、『きよしこの夜』『もろ人こぞりて』を合唱しながら病棟を回りました。入院患者さんには、受け持ち看護師からのメッセージカードを送りました。

(医療サービス向上推進委員会)



第7回 DMAT 隊員養成研修 11月6日(水)～9日(土)

令和元年 11月6日(水)～9日(土)の4日間、兵庫県神戸市にある兵庫県災害医療センターにて開催された第7回 DMAT 隊員養成研修に参加いたしました。

DMAT (Disaster Medical Assistance Team) とは、医師・看護師・救急救命士やその他の医療従事者・事務員等で構成される、大規模災害や事故などの現場に急行する医療チームのことで、災害派遣医療チームとも言います。

研修は東京、大阪、兵庫で年に20回程開催されており、今回の参加者は50名程でした。研修中は6人前後で一つの班を作り、DMATとして災害派遣された際の役割と活動方法を講義・机上訓練・実習を通して教えていただきました。

災害派遣というと、どのようなイメージをお持ちでしょうか？災害が起こった場所で直接医療行為を行い重症の患者さんを救う、ドラマや映画のような活動を想像するのではないのでしょうか。少なくとも、研修を受ける前の私はそう思っていました。確かに、そのような活動をすることもあるそうですが、現実求められることの多くは、被災地で頑張っている医療機関への支援だと教えていただきました。

過去の災害時、通信が遮断された際に病院同士の連携が取れなくなり、ある病院では診きれないほどの患者さんが来ているのに、ある病院では準備していたがあまり患者さんは来なかったという状況があったそうです。そのため、派遣されたDMATには医療行為の他に被災地の情報収集や病院同士の連携を回復させる役割が求められており、さらに、派遣を受けた病院にもDMAT隊員がいることでその支援が円滑になると教えていただきました。

日本は自然災害の多い国と言われており、残念ながら当院やその周辺地域が被災する可能性もあります。今回の研修では、災害の現実に即した知識を学べ、大変有意義な4日間でした。今後も、機会があれば研修を受講し、研鑽を重ねていきたいと思います。

(放射線技師 里園 邦仁)



令和元年 合同忘年会

12/18
(水)



毎年恒例の合同忘年会をレンブラントホテル大分で開催しました。院長先生の「2019年のあゆみ」を始め、6組の職員による余興、それからお楽しみ大抽選会と盛りだくさんの内容で楽しいひとときでした。

(レクリエーション委員会)

この度、合同忘年会で行わせていただいた大分医療センター温泉体操はTQM活動の取組として患者さんにも行っていたいでいるものです。今回は余興として会場の皆さんと一緒に行うことができ、また優勝をいただくことができてとても嬉しかったです。これを機に温泉体操がもっと広がっていくといいなと思っています。お忙しい中、病棟を始めリハビリ科の方々も協力していただき本当にありがとうございました。

(5階病棟 阿部優綺乃)



人事異動

退職・転出等

発令事項	発令日	職 名	氏 名	備 考
退職	1.11.26	2階病棟業務技術員	松岡 千依	
退職	1.12.1	電気士長	中村 健治	

採用・転入等

発令事項	発令日	職 名	氏 名	備 考
採用	1.11.18	ホッとステーション事務助手	鬼木 翔平	
採用	1.12.2	外来非常勤看護師	松浦美由記	
採用	2.1.1	栄養士	氏原 理緒	



基本理念

「愛の心・手」で
病める人々に寄りそう医療

基本方針

- 一 365日24時間断らない診療を目指します
- 一 大分県地域医療支援病院として、地域へ貢献します
- 一 大分県がん診療連携協力病院として、がん診療の充実に努めます
- 一 垣根を越えた連携によるチーム医療の充実に努めます
- 一 地域に根ざした積極的な広報活動と情報発信に努めます
- 一 安定した医療を提供するため、健全経営を志向します

大分医療センターのロゴマークについて



全体のコンセプト

Oita National Hospital (旧国立大分病院)の頭文字をロゴマークの形であらわしており、さらに「O」は病院の所在地である「大分市」及び「大在」の地名を示している。
これを、海・空・太陽・緑の大地を立体的に示す色合いで表現したものである。

「緑と赤」… 昇る朝日と緑豊かな大分の地を表す。
「青」…… 大分医療センターのシンボルカラーを示し、私達医療従事者を表す。
「黒」…… 地域と大分医療センターを結ぶ架け橋を表す。

編集後記

あけましておめでとうございます。

暖かく穏やかな新年を迎えました。今年は子年です。昨年はネコのが世間を賑わせておりましたが、今年はチャレンジ精神で頑張りたいと思います。どこかで誰かが言っていた、「様々な環境の変化にも対応して、どんな苦境でも諦めずに生き抜くネバーギブアップ」で邁進します。

(ねずみ委員)



表紙の写真や大分医療センターのなつかしい写真を募集します。
ぜひ編集委員へご提供ください！

編集委員

委員長 奈須 伸吉
委員 山下 勉
南利 朱美
佐藤 剛

園田 美幸
市原 直美

渋谷 充
姫野 里美

古川知香子
國分 克典

今村 健二
亀之園照彦

松崎 舞衣
生野 充章

梅木 祐
徳久 亮

外来診察医担当表

【令和2年1月1日現在】

■ 受付時間 8:30~11:00
■ 診察開始時間 8:30~

※予約の変更は月~金の各13:00~15:00にご連絡ください。
(総合支援センター) ☎ 097-593-1112 fax 097-528-9651

【一般外来】 ※連携医療機関の方は8:30~17:15に総合支援センター（地域医療連携部門）へご連絡ください。

診療科 曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
代謝・内分泌内科	安東 理恵	嶋崎 貴信	嶋崎 貴信 安東 理恵	嶋崎 貴信 安東 理恵	嶋崎 貴信 安東 理恵
腎臓内科			青木 宏平(予約制)		
膠原病内科			安倍いとみ(予約制)		
消化器内科 (肝センター)	大塚雄一郎 山下 勉 草津 工喜	豊田 亮 室 豊吉 山下 勉 大塚雄一郎(~10:00)	福田 春菜 山下 勉 水内 梨絵	草津 工喜 山下 勉 福田 春菜	水内 梨絵 大塚雄一郎 豊田 亮
工 科	福田 春菜	水内(~10:00)/平江	草津 工喜	有川 淳子	山下 草津(~10:00)/平江 福田
循環器内科	有川 雅也 和田 雅登	有川 雅也 植村 徹也	吉村誠一郎 植村 徹也	吉村誠一郎 和田 雅登	有川 雅也 和田 雅登
呼吸器内科 (呼吸器センター)	一宮 朋来 中野 哲治	一宮 朋来 中野 哲治 城 幸督	一宮 朋来 中野 哲治	中野 哲治 城 幸督	一宮 朋来 吉川 裕喜
腫瘍内科				西川 和男 ※受付時間8:30~11:00 診察時間8:30~	
外科	梶島 章 梅田 健二	穴井 秀明	矢田 一宏 梶島 章	梅田 健二 是久翔太郎	矢田 一宏 渡邊 公紀
乳腺外科	武内 秀也※	※第1・第3月曜日 受付時間10:00~12:00 診療時間10:00~13:00のみ			
呼吸器外科	(手術日)	高祖 英典	高祖 英典	(手術日)	高祖 英典
整形外科	田畑 知法 久保田悠太	田畑 知法 久保田悠太	(手術日)	田畑 知法 久保田悠太	金曜新患受付10時まで 田畑 知法 久保田悠太
泌尿器科	午前 住野 泰弘 奈須 伸吉 中島 駿佑	午前(10時まで) 高橋 剛(新患) 住野 泰弘(新患) 中島 駿佑(新患)	午前 高橋 剛 住野 泰弘 中島 駿佑	午前(10時まで) 住野 泰弘(新患) 高橋 剛(新患) 中島 駿佑(新患)	午前 高橋 剛 奈須 伸吉 中島 駿佑
	紹介は「外来担当医」宛て				
	午後(予約のみ) 各医師で分担				
婦人科	岡田さおり	岡田さおり	岡本真実子 西田 欣広 ※受付時間14:00~16:30 診療時間14:00~17:00	岡田さおり	岡本真実子
放射線科	中村 雄介	岸川 浩尚(午前) 本村 有史(午後)	中村 雄介	岸川 浩尚 本村 有史(午後)	中村 雄介
内視鏡 (胃腸センター)	豊田 亮 水内 梨絵 平江 麻衣	大塚雄一郎(10:00~) 福田 春菜 水内 梨絵 草津 工喜	豊田 亮 大塚雄一郎 平江 麻衣	豊田 亮 大塚雄一郎 水内 梨絵 平江 麻衣	山下 勉 福田 春菜 平江 麻衣 草津 工喜
内科系疾患で 専門診療科の判断が困難 な場合の担当科	消化器内科	代謝・内分泌内科	循環器内科	呼吸器内科	消化器内科

【特殊外来のご案内】 ※完全予約制となっておりますので、下記にご連絡ください。

ひまん外来	毎週 金曜日 (祝日を除く)	診察時間14:00~16:00	TEL 097-593-1111 (内線235)
ストーマ外来	毎週 金曜日 (祝日を除く)	診察時間 9:00~12:00	TEL 097-593-1111 (内線711)
緩和ケア外来	毎週 水曜日 (祝日を除く)	診察時間11:00~12:00	TEL 097-593-1111 (内線739)
フットケア外来	第2・第4 火曜日 (祝日を除く)	診察時間 8:30~11:00	TEL 097-593-1111 (内線235)



地域医療支援病院 日本医療機能評価機構 認定病院

独立行政法人
国立病院機構

大分医療センター

<https://oita.hosp.go.jp>



〒870-0263 大分市横田2丁目11番45号 TEL097-593-1111 FAX097-593-3106 / 総合支援センター直通 TEL097-593-1112 FAX097-528-9651